

サーバー取扱説明-使用上の注意

①炭酸ガスカートリッジ、減圧弁の取り扱いについて



ガスカートリッジの取り付け、取り外し作業の時は、必ず減圧弁のダイヤルを「閉」の矢印方向に、「カチッ」というまで回し、ガスを止めてから行ってください。減圧弁にガスカートリッジをねじ込んでいく際には、途中重くなりますが、そのままいっきに最後までしっかりと取り付けてください。ガスカートリッジのねじ込みが緩いと、ネジ部からガスが抜けることがあります。



減圧弁からガスカートリッジを外す際に、万一、ガスカートリッジ内にまだガスが残っていた場合は、ネジを少し緩めた時に減圧弁の横の穴からガスが「シュー」と出ます。放出されたガスは低温になっていますので、ご注意ください。尚、使用直後のガスカートリッジは低温になっていますので、取り外しは素手で行わず、軍手または布などを用いて行ってください。

②減圧弁・炭酸ガス残量確認ピン



炭酸ガスカートリッジ内にガスがない場合は、残量確認ピンが引っ込んだ状態になります。

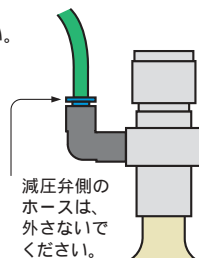
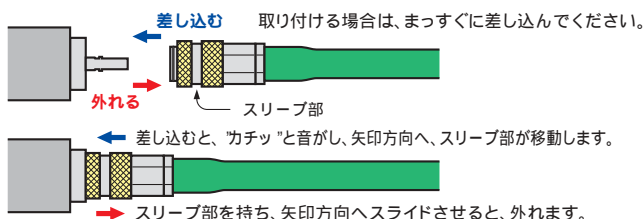
連続使用した場合、一時的に残量確認ピンが引っ込んだ状態になることがあります。ガスがある場合は、しばらくすると出た状態に戻ります。



炭酸ガスカートリッジ内にガスが残っている場合は、残量確認ピンが出た状態になります。

この場合は、ガスカートリッジを外さないで下さい。

③カプラーの取り扱いについて



ミニ樽の温度について

セッティング後すぐにお使いになる場合は、ミニ樽は充分冷えたものをお使いください。冷えていないミニ樽をお使いになると、泡が出すぎる場合があります。(ビール温度の目安は5 くらいです。)

洗浄について

ご使用後は必ず洗浄してください。(「お手入れのしかた」の項目に従ってください。)万一、洗浄が不十分でサーバーにビールが残っていると、汚れ等が附着し、ビールが濁り、味も変化し、ビール本来のおいしさが損なわれる可能性があります。

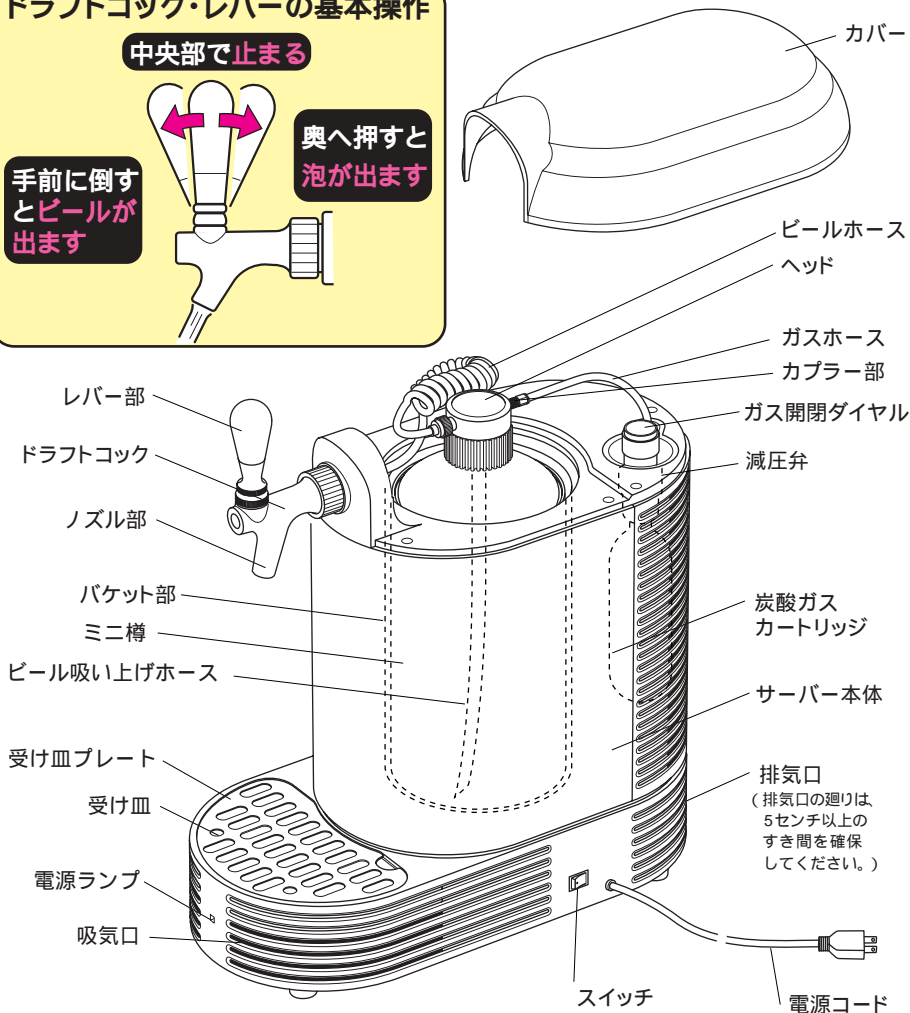
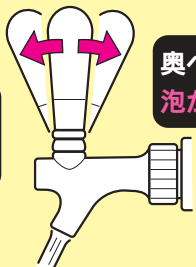
サーバー取扱説明-各部の名称と働き

ドラフトコック・レバーの基本操作

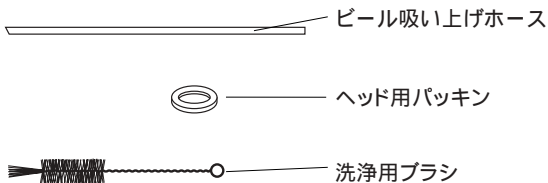
中央部で止まる

手前に倒すと
ビールが
出ます

奥へ押すと
泡が出ます



付属部品



ビール冷却能力の目安

室温30℃、ビール温度20℃の場合、5℃になるまで、約8時間位掛かります。

サーバーで冷やす場合は、前日から準備をしてください。すぐに使用したり、続けてご使用になる場合は、冷蔵庫等で充分冷やしたビールをお使いください。

サーバー取扱説明-セッティング-1

ビールは『アサヒ スーパードライ』のミニ樽2L,3Lがセットできます。
(注意:他社の商品は、サイズ、規格が違いますのでセットできません。)

1 ビールのセット方法 ビールは充分冷えたミニ樽をご使用ください。



ミニ樽の取っ手を外します。
取っ手下側を先に外してください。



ヘッドに、ビール吸い上げホースを差し込みます。
ヘッド内側に奥までしっかりと差し込みます。
差し込みが不十分な場合、泡が出すぎる
ことがあります。



ビールホース接続継手を本体ドラフトコック裏側のネジに手でしっかりと締め付けます。

ドラフトコック・レバーが「止まる」位置にしてください。



ミニ樽のキャップを開栓し、ヘッドを取り付けます。
ビール吸い上げホースをミニ樽内に入れます。



ヘッドの上部を持ち、下部を回して、しっかりと締めます。
ドラフトコック・レバーが「止まる」
位置にあることを確認してください。



ヘッドをセットしたミニ樽をサーバーのバケット部に静かに入れます。

サーバー取扱説明-セッティング-2

炭酸ガスカートリッジは「アサヒ樽生ビール専用炭酸ガスカートリッジ(容量74g)」
をご使用ください。

②炭酸ガスカートリッジのセッティング



減圧弁のダイヤルが「閉」になっていることを確認します。
ガスカートリッジを減圧弁に取り付けます。減圧弁にガス
カートリッジをねじ込んでいく際には、途中重くなりますが、
そのままいっきに最後までしっかりと取り付けてください。



減圧弁、ガスカートリッジを本体のカートリッジ
受け部に入れます。



炭酸ガスカートリッジ内にガスがない場合は、残
量確認ピンが引っ込んだ状態となります。



炭酸ガスカートリッジ内にガスが残っている場合
は、残量確認ピンが出た状態となります。この場
合は、ガスカートリッジを外さないで下さい。



ガスホースをヘッドに接続します。ガスホース用カ
プラーをヘッドの差し込み部に「カチッ」というまでしっかりと差
し込みます。この時カプラーは、まっすぐに差し込んでください。



減圧弁のガス開閉ダイヤルを「開」の矢印方向に
一杯に回します。ドラフトコックレバーが、「止ま
る」の位置になっていることを確認してください。

サーバー取扱説明-セッティング-3

③カバーのセッティング



ビールホース、ガスホースがしっかりと接続されていることを確認してください。



カバーを本体にセットします。

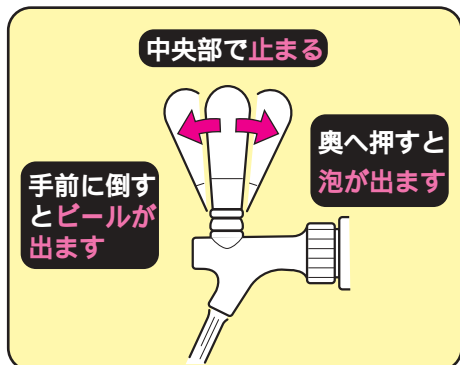


冷却機能を作動させるため、電源スイッチを入れます。
本体正面下側の電源ランプ(緑色)が点灯します。
スイッチはあらかじめ入れておいても結構です。

ビール開栓後は、なるべくお早めにお飲み下さい。
サーバーは、10～30 の範囲でお使い下さい。(この温度範囲外で使用すると過冷却、または冷却不足となることがあります。)

サーバー取扱説明-使用方法-1

1 ビールの注ぎ方



ドラフトコック・レバーの基本操作



ドラフトコック・レバーを全開にします。(手前に倒す。)ビールがジョッキの内壁を伝わるように注いでください。

全開にしないと泡が出すぎる場合があります。



ビールがジョッキに半分くらい入ったところで、ジョッキの角度を静かに、少しずつ起こしていきます。



ビールが、ジョッキに7分目くらい入りましたら、レバーを戻します。続けてレバーを奥側に強く押して、泡付けを行います。



美味しい泡の割合は、全体の20~30%がベストです。

サーバー取扱説明-使用方法-2

②ミニ樽内のビールが空になりましたら



ミニ樽内のビールが空になった時は、炭酸ガスと泡が「シュー」と出ます。
ドラフトコック・レバーを閉じてください。

ビールが空になった状態でドラフトコック・レバーを開にし、ガスを出していると、ガスカートリッジ内のガスが早く消費されてしまいます。



減圧弁のダイヤルを「閉」の矢印方向へ「カチッ」というまで回して閉じます。
次にガスホース用カプラーのスリーブ部を持ってホース側にスライドさせて外します。



ドラフトコック・レバーを「開」にしてミニ樽内の残圧を抜きます。

ノズルから「シュー」という音がしなくなるまでレバーを開けてください。
取り外し作業が終了するまで、開けておいてください。



ミニ樽をサーバー本体から取り出し、ヘッドを緩めて外します。

このままお飲みにならない場合は、「使用方法-3」の手順に従ってください。
また続けてお飲みになる場合は「使用方法-4」の手順に従ってください。

サーバー取扱説明-使用方法-3

もうお飲みにならない場合

ミニ樽内のビールが無くなり、もうこれ以上お飲みにならない場合は、「お手入れのしかた」の項目に従って本体、ドラフトコックの洗浄を行ってください。



空になったミニ樽を、よく水洗いした後に、1/3程度水を入れて、再びサーバーにセットします。



ミニ樽内に入れた水を出すことによって、ビールホース、ドラフトコックなどに残っているビールをバケツ等に洗い出します。詳しくは「お手入れのしかた」の項目に従って行ってください。



ガスカートリッジのダイヤルは「閉」であることを確認してください。

ガスカートリッジにガスが残っている場合(残量確認ピンが出た状態の時)は、左図のような状態で保管して下さい。

ガスカートリッジにガスが残っている場合は、減圧弁から外さないで下さい。ガスカートリッジは次回そのままお使いいただけます。

サーバー取扱説明-使用方法-4

4 続けてお飲みになる場合

空になったミニ樽をヘッドから外す前に、必ずドラフトコック・レバーを開け、ミニ樽内の残圧を抜いてから行ってください。



レバーを止まるの位置にもどします。ミニ樽の取っ手を外し、「セッティング-1」の項目と同じ手順でミニ樽をセットします。



ミニ樽に、ヘッドを取り付けます。ヘッドの上部を持ち、下部を回して、しっかりと締めます。ドラフトコック・レバーが「止まる」の位置にあることを確認してください。



ヘッドをセットしたミニ樽をサーバーのバケット部に静かに入れます。



ガスホースを接続します。ガスホース用キャプラーをヘッドの差し込み部に「カチッ」というまでしっかりと差し込みます。



減圧弁のガス開閉ダイヤルを「開」の矢印方向に一杯に回します。



本体のカバーをセットします。

サーバー取扱説明-使用方法-5

④炭酸ガスカートリッジが空になりましたら

ミニ樽内のビールがまだあるのに、次第に出が弱くなりましたら、ガスが無くなっていることが考えられます。その時は、以下の方法で交換してください。



ドラフトコック・レバーを「止まる」の位置にします。**炭酸ガスを止めます。**減圧弁のダイヤルを「閉」の矢印方向に、「カチッ」というまで回します。「閉」の位置ではカチッというクリック感があります。



ガスホースを外します。ガスホース用カプラーのスリーブ部を、ホース側にスライドさせると、カプラーは外れます。**カプラーを外した状態のヘッドを傷付けない様に気を付けてください。**



減圧弁の残量確認ピンが完全に凹になっていることを確認してから、減圧弁とガスカートリッジを持って、ゆっくりとネジを回して外します。万一、ガスカートリッジ内にまだガスが残っていると、ネジを少し緩めた時に減圧弁の横の穴からガスが「シュー」と出ます。その場合は、そのまま放置して、この音がなくなるのを確認してから取り外してください。尚、ガスカートリッジの取り外しは素手で行わず、軍手や布などを用いて行ってください。

使用済みカートリッジは蓋(封板)に穴が開いている事を確認の上、不燃物として処理してください。



ガスが空になると残量確認ピンが凹となる。

連続使用した場合、ガスカートリッジ内にガスが残っていても一時的に、残量確認ピンが引っ込んだ状態になることがあります。その場合は、しばらくすると残量確認ピンは、出た状態に戻ります。

炭酸ガスカートリッジの使用できる量は、使用条件によっても異なりますが、連続使用でミニ樽3L約3～5本が目安です。

サーバー取扱説明-お手入れのしかた-1

ご使用後は必ず洗浄してください。万一、洗浄が不十分でサーバーにビールが残っていると、汚れ等が付着し、ビールが濁り、味も変化し、ビール本来のおいしさが損なわれる可能性があります。

■使用後のサーバーの洗浄方法



空になったミニ樽を、よく水洗いします。完全にビール分が無くなるまで洗ってください。



洗浄後のミニ樽に1/3程度水を入れて、ヘッドを取り付けます。サーバーにミニ樽を入れ、ビールホース、ガスホースを接続し、減圧弁のダイヤルを「開」にします。洗浄は、炭酸ガスを使用し行います。



- 1)バケツ等の水受けを用意し、ドラフトコック・レバーを、前・後に倒します。
- 2)ミニ樽内の水が完全に無くなった後、炭酸ガスによりビールホース内に残った水を吹き飛ばす様にして水切りします。
- 3)減圧弁のダイヤルを「閉」の矢印方向に「カチッ」となるまで回しガス用カバーを外します。
- 4)もう一度ドラフトコック・レバーを開け、ミニ樽内の残圧を抜きます。
- 5)ミニ樽を取り出し、ヘッドを外します。



洗浄の際、ビール吸い上げホースがヘッドから外れない場合は、無理に引っ張らず、ビール吸い上げホース内に水またはぬるま湯を注ぎ込み(ホース内部をぬらして)、ホースを回しながらゆっくりと外して下さい。(無理にビール吸い上げホースを引っ張るとホースが変形することがあります。)

サーバー取扱説明-お手入れのしかた-2

②ドラフトコックの洗浄方法



ドラフトコック取付口の袋ナットをゆるめ、本体から取り外します。

片手で、ドラフトコックを保持し、袋ナットは時計方向に回してゆるめます。



レバーの袋ナットをゆるめ、レバーを取り外します。



ドラフトコックは写真のように3つの部分に分解できます。



家庭用中性洗剤を使用し、ブラシで洗浄します。



ブラシ洗浄がすんだら、よく水洗いをします。乾燥したら、また元通り組み立て、取り付けてください。

サーバー取扱説明-お手入れのしかた-3

④ 本体およびその他の部品の洗浄と収納



1 ピールホースを外します。サーバー本体の外側、バケツ内は、乾いた布等で清掃してください。(バケツ内に結露水が溜まることがあります。)



2 汚れがひどい場合は、布にぬるま湯や、中性洗剤を含ませ拭き取ってください。その後、よく絞った布で拭き取ってください。



3 受け皿、受け皿プレートは、本体から外して水洗いし、その後、乾いてから本体に取り付けてください。ヘッドもピールホースを外して水洗いします。



4 ヘッド、ピール吸い上げホース、ピールホースは、洗浄後、完全に乾いてから収納してください。ガス開閉ダイヤルは「閉」にしておいてください。